



# 8

## くらし・その他

- 8-1 リサイクル情報センター
- 8-2 別府市学校給食共同調理場
- 8-3 南立石緑化植物園 みどりの相談所
- 8-4 別府駅高架下自転車専用駐車場
- 8-5 別府駅西口自転車駐車場
- 8-6 新若草漁具倉庫
- 8-7 楠港漁具倉庫
- 8-8 清掃事務所
- 8-9 し尿処理場「春木苑」
- 8-10 中央浄化センター

## 8. くらし・その他

### 8-1 リサイクル情報センター

所在地	上野口町19番22号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	635.04㎡
建築年	昭和54年
構成施設	窓口・事務室・展示ルーム・リユースコーナー・和室・学習ルーム
管理形態	直営
施設所管課	生活環境部環境課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



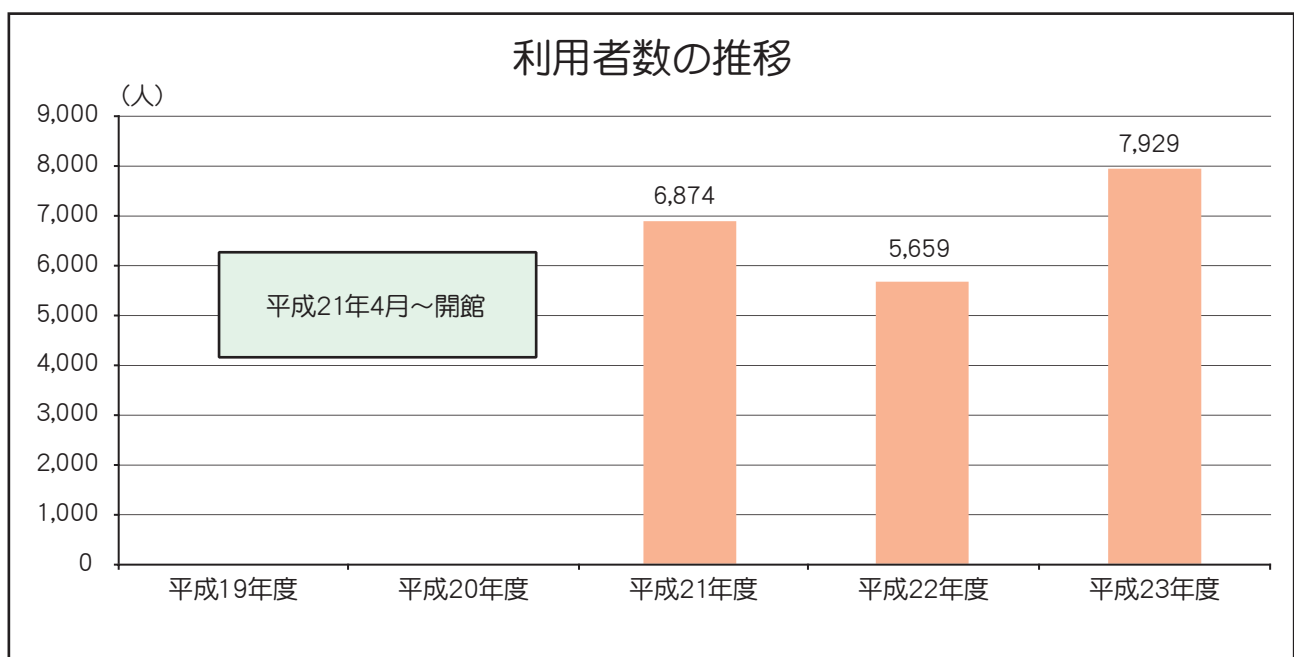
リサイクル情報センターは、ごみの減量及びリサイクルに関する情報の提供等を行うことにより、リサイクル社会の推進に寄与することを目的に平成21年に設置されています。

施設そのものは、昭和54年に建築された旧勤労青少年ホームを利用しているため、建築後30年以上経過しています。平成23年度においては、地盤沈下により排水枅が傾いたため側溝整備等を含めての工事を実施しています。

利用状況としては、不用になった衣類や書籍等を展示・提供する「リユースコーナー」の利用が多くなっています。また、リサイクル品抽選会対象品を展示する「展示ルーム」には、毎回、自転車や家具等30点程度の出展数に対し約1,000人近くの応募があり、市民に好評です。

なお、環境学習の一環として小学4年生時に行われる社会見学の受け入れを行っており、平成23年度は7校の利用がありました。

収 入	
使用料等	48千円
施設にかかる経費	
人件費	14,854千円 正職員(2.0人) 非常勤職員(2.0人)
光熱水費	96千円
修繕料	340千円
役務費	162千円
委託料	716千円
指定管理料	—
工事請負費	0千円
その他の支出	126千円
合計	16,294千円
減価償却費	2,286千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：244日】

## 8. くらし・その他

### 8-2 別府市学校給食共同調理場

所在地	大字別府3088番地の127
構造	鉄骨造
延床面積	3,338.00㎡
建築年	昭和47年
構成施設	事務室・調理室・洗浄室・研修室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会スポーツ健康課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



※延床面積には、単独調理場が含まれています。

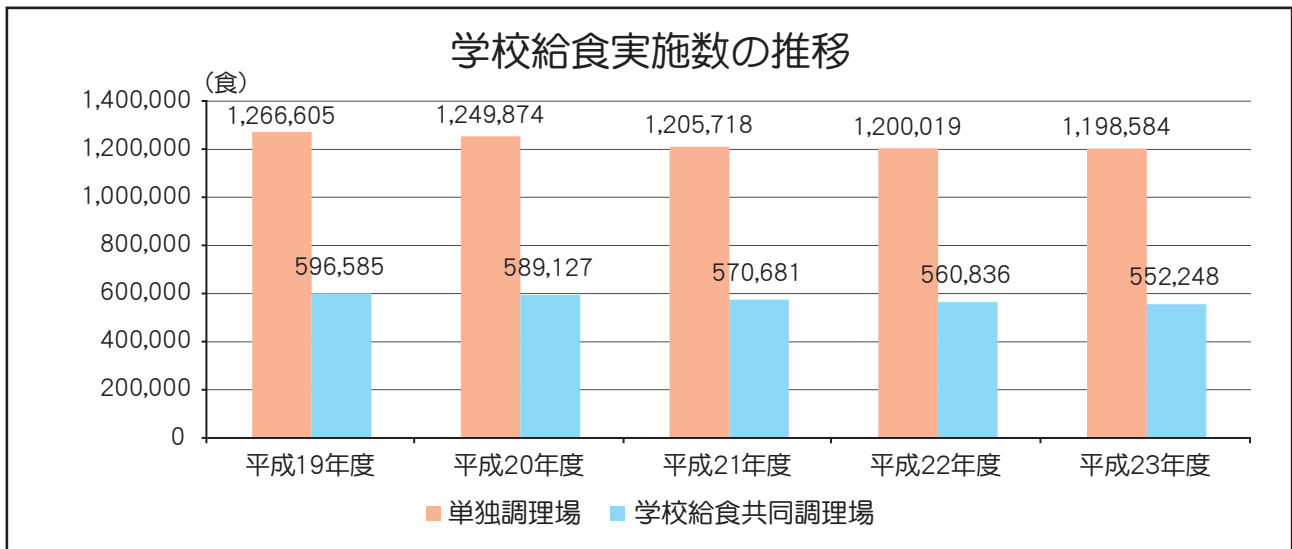
学校給食共同調理場は、学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものとして、学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図ることを目的とし、昭和47年に設置されています。

施設の状況としては、建築後39年が経過し、外壁や内装、付属設備に不具合が目立ってきており簡易な修繕工事が常時必要となっています。

共同調理場では、中学校8校（東山中学校は、幼稚園・小学校含む。）の学校給食を調理しており、平成23年度では552,248食となっています。また、単独調理場については、小学校（幼稚園含む。）14校にそれぞれ設置され、安心安全な給食作りに努めています。

年間給食回数の平均は、幼稚園180回、小学校189回、中学校190回となっています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	47,525 千円 再任用職員 (1.0人) 非常勤職員 (29.0人)
光熱水費	5,136 千円
修繕料	1,596 千円
役員費	574 千円
委託料	2,023 千円
指定管理料	—
工事請負費	1,110 千円
その他の支出	9,048 千円
合 計	67,012 千円
減価償却費	0 千円 (参考値)



#### 【単独調理場】

学校名	建築年	構造	延床面積	学校名	建築年	構造	延床面積
境川小学校	昭和35年	RC	83.00㎡	上人小学校	昭和44年	S	115.00㎡
西小学校	昭和48年	S	140.00㎡	鶴見小学校	昭和49年	S	140.00㎡
南立石小学校	昭和44年	RC	63.00㎡	春木川小学校	昭和50年	S	140.00㎡
亀川小学校	昭和41年	RC	95.00㎡	緑丘小学校	昭和53年	S	143.00㎡
朝日小学校	昭和47年	RC	105.00㎡	大平山小学校	昭和54年	S	143.00㎡
石垣小学校	昭和41年	RC	180.00㎡	南小学校	平成16年	RC	161.00㎡
青山小学校	平成2年	S	168.00㎡	別府中央小学校	昭和59年	RC	399.00㎡

## 8. くらし・その他

### 8-3 南立石緑化植物園 みどりの相談所

所在地	大字南立石1880番地 1
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	857.51㎡
建築年	昭和53年
構成施設	事務室・会議室
管理形態	直営（一部管理委託）
施設所管課	建設部公園緑地課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未

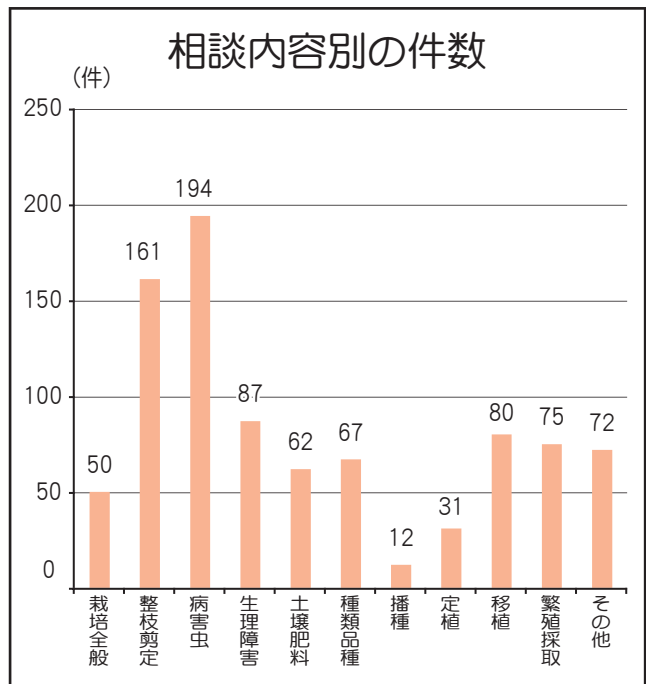
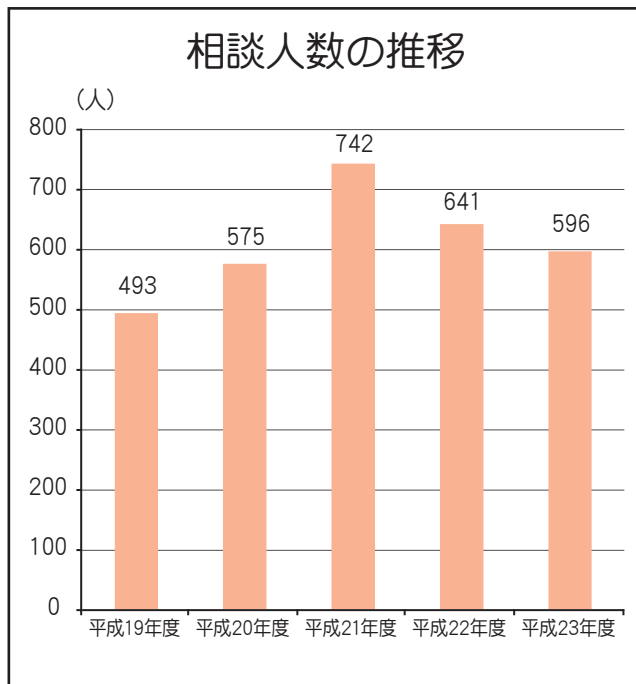


みどりの相談所は、市民が明るく健康的な社会生活を営むための一助として植物に関する知識を習得しながら、植物を身近な存在として日常生活の中に取り入れていくことを目的として昭和53年に設置されています。

建築後30年以上が経過し、老朽化が目立つことから平成18、19年度に屋根の改修などを行っています。今後は耐震診断等も行っていく必要があります。

利用状況としては、平成23年度の相談者数は596人（相談件数891件）、園芸教室の参加者数は348人となっております。相談の内訳は、来所による相談者が197人、電話による相談者が399人で、年間約600人前後で推移しています。

収 入	
使用料等	—
施設にかかる経費	
人件費	4,680 千円 非常勤職員（3.0人）
光熱水費	309 千円
修繕料	0 千円
役務費	59 千円
委託料	765 千円
指定管理料	—
工事請負費	526 千円
その他の支出	39 千円
合 計	6,378 千円
減価償却費	2,547 千円（参考値）



【平成23年度 開館日数：244日】

## 8. くらし・その他

### 8-4 別府駅高架下自転車専用駐車場

所在地	駅前本町10番5号
構造	鉄骨造
延床面積	630.44㎡
建築年	平成20年
構成施設	平面駐輪場・1階駐輪場・2階駐輪場
管理形態	直営（一部管理委託）
施設所管課	建設部道路河川課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



自転車専用駐車場及び自転車駐車場は、通勤・通学等の拠点であるJR別府駅の利便性の向上と駅周辺歩道等における放置自転車解消により歩行者の通行及び環境美化に寄与することを目的として平成20年に設置されています。駐車可能台数は、別府駅高架下が388台、西口が123台となっています。利用状況は、両駐車場とも年間を通じて90%程度は利用されている一方、駐車場内における放置自転車が年間40~70台となっており、定期的な回収が必要となっています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	740千円 正職員(0.1人) 臨時職員(0.1人)
光熱水費	62千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	845千円
指定管理料	—
工事請負費	2,992千円
その他の支出	1,182千円
合計	5,821千円
減価償却費	1,248千円(参考値)

### 8-5 別府駅西口自転車駐車場

所在地	田の湯町1943番地の12
構造	鉄骨造
延床面積	242.69㎡
建築年	平成20年
構成施設	1階駐輪場・2階駐輪場
管理形態	直営（一部管理委託）
施設所管課	建設部道路河川課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	740千円 正職員(0.1人) 臨時職員(0.1人)
光熱水費	62千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	798千円
指定管理料	—
工事請負費	2,992千円
その他の支出	861千円
合計	5,453千円
減価償却費	481千円(参考値)

## 8. くらし・その他

### 8-6 新若草港漁具倉庫

所在地	京町818-473
構造	鉄骨造
延床面積	240.00㎡
建築年	平成19年
構成施設	倉庫
管理形態	委託
施設所管課	建設部都市政策課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



※施設所管課については、平成25年度より“建設部都市整備課”に変わります。

新若草港漁具倉庫及び楠港漁具倉庫は、ふ頭用地に漁業関連施設として整備することになり、平成5年に建築されました。その後、新若草港漁具倉庫が平成19年、楠港漁具倉庫が平成20年にそれぞれ現在の場所に新築移転されました。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	0千円
指定管理料	—
工事請負費	0千円
その他の支出	0千円
合計	587千円
減価償却費	475千円(参考値)

### 8-7 楠港漁具倉庫

所在地	楠町382-6
構造	鉄骨造
延床面積	415.14㎡
建築年	平成20年
構成施設	倉庫
管理形態	委託
施設所管課	建設部都市政策課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新



※施設所管課については、平成25年度より“建設部都市整備課”に変わります。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	587千円 正職員(0.1人)
光熱水費	0千円
修繕料	0千円
役務費	0千円
委託料	0千円
指定管理料	—
工事請負費	0千円
その他の支出	0千円
合計	587千円
減価償却費	822千円(参考値)

## 8. くらし・その他

### 8-8 清掃事務所

所在地	大字内電字冷川3611番地
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	2,612.74㎡
建築年	平成5年
構成施設	管理棟・車庫・倉庫
管理形態	直営
施設所管課	生活環境部環境課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：新

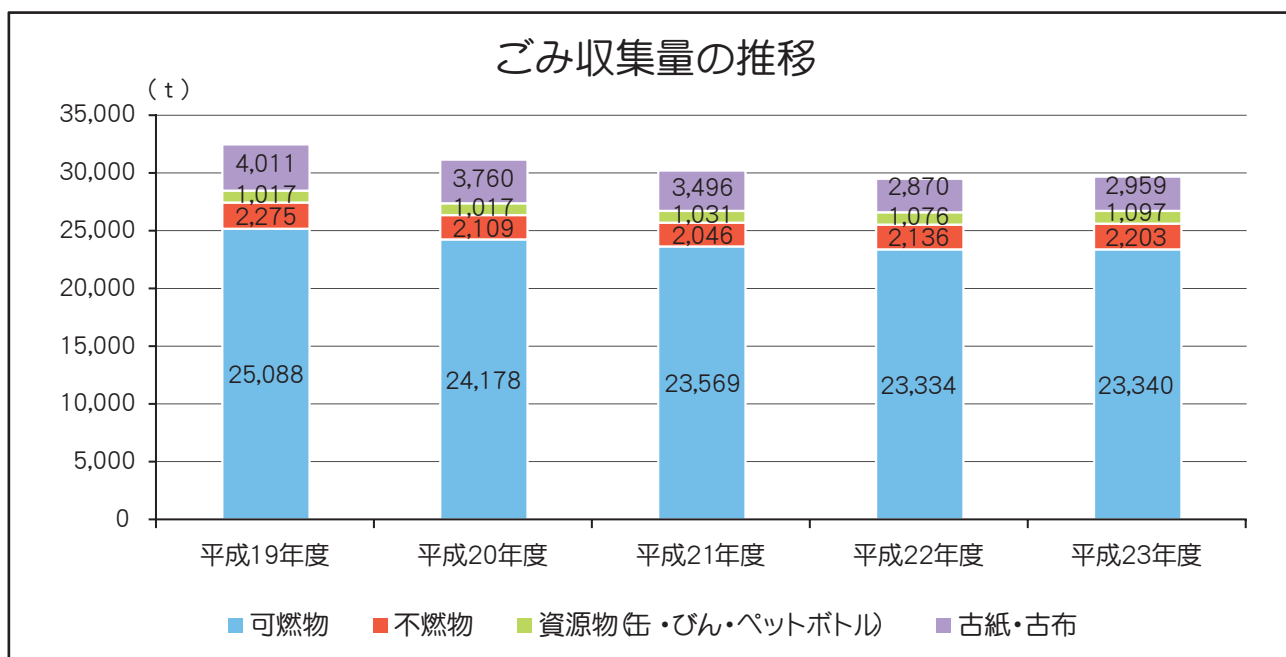


清掃事務所は、平成5年に上野口町（現別府市コミュニティセンター敷地）から現在の位置に新築移転されました。建築後18年が経過しているため、外壁のひび割れや空調設備、ボイラー等に不具合が多数生じており、毎年、計画的に修繕するなどの対応をしています。

清掃車両33台（平成23年度末現在）を保有し、可燃物、不燃物、資源物（缶・びん・ペットボトル）のごみ収集業務を行っています。収集量としては、可燃物が一日当たり約63.7 t、不燃物が約6 t、資源物が約3.3 tとなっています。

可燃物については、市民によるごみ減量の取り組みの結果、減量傾向となっており、資源物の収集内訳としては、ペットボトル約42%、びん類約36%、缶類約22%となっています。

収 入	
使用料等	325 千円
施設にかかる経費	
人件費	32,455 千円 正職員 (5.0人) 非常勤職員 (2.0人)
光熱水費	4,065 千円
修繕料	258 千円
役員費	325 千円
委託料	2,346 千円
指定管理料	—
工事請負費	1,642 千円
その他の支出	759 千円
合 計	41,850 千円
減価償却費	9,060 千円 (参考値)



## 8. くらし・その他

### 8-9 し尿処理場「春木苑」

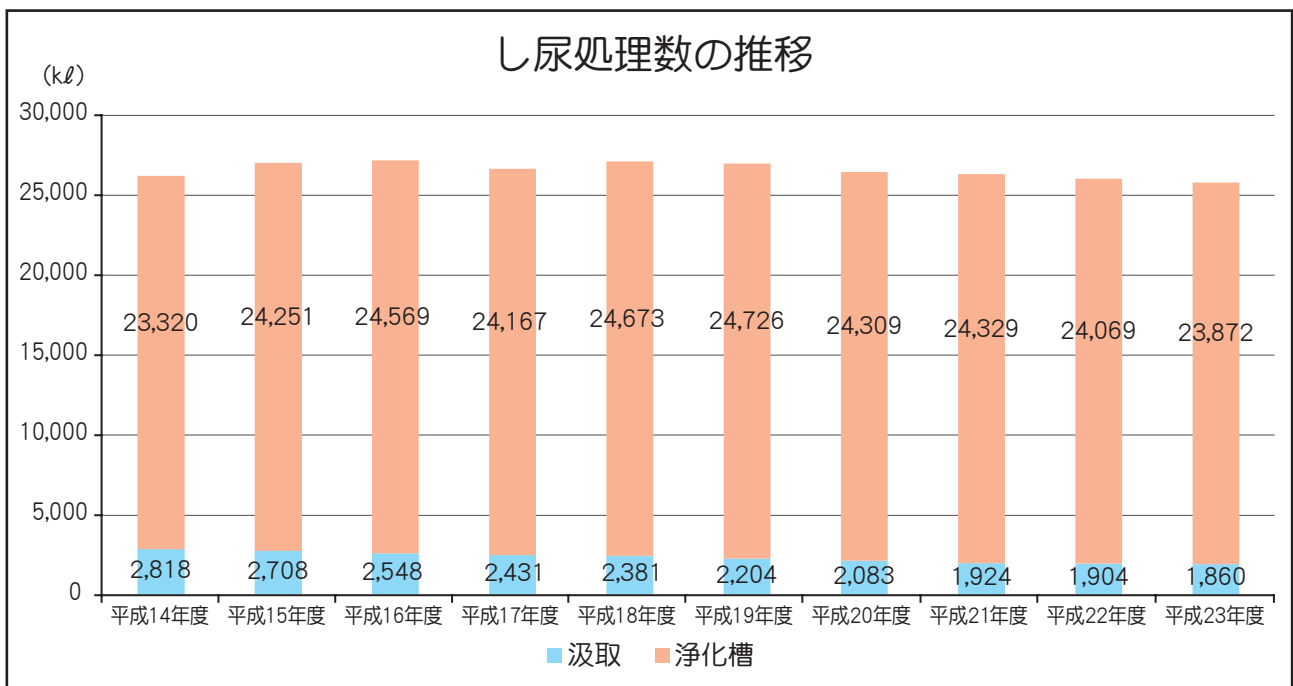
所在地	大字北石垣字祝保1200
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	1,146.00㎡
建築年	昭和44年
構成施設	管理棟・消化槽・曝気槽
管理形態	直営
施設所管課	生活環境部環境課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：旧 耐震診断：済 耐震補強：済



し尿処理場「春木苑」は、市内全域の下水道を除く生し尿及び浄化槽汚泥の処理を目的に昭和44年に設置されています。平成17年度に施設の精密機能検査を実施したところ、消化槽及び曝気槽は15年程度の耐用年数が残っていることが判明したため、平成19年度に管理棟の耐震補強と外壁改修工事をし、平成20年度に曝気槽の内部改修工事を行い施設の長寿命化を図っています。

施設の処理能力は、1日当たり100kℓのし尿及び浄化槽汚泥の投入が可能となっていますが、平成23年度の投入実績では、生し尿1,860kℓ、浄化槽汚泥23,872kℓであり、1日当たり約90kℓが投入されています。生し尿は年々減少傾向ですが、浄化槽汚泥は下水道整備の進捗率が低下している状況の中、横ばいとなっています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	51,616千円 正職員(8.0人) 非常勤職員(3.0人)
光熱水費	132,294千円
修繕料	437千円
役員費	402千円
委託料	12,456千円
指定管理料	—
工事請負費	3,737千円
その他の支出	932千円
合計	201,874千円
減価償却費	1,411千円(参考値)



【平成23年度 稼働日数：286日】



## 8. くらし・その他

### 8-10 中央浄化センター

所在地	亀川東町1363番地46
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	30,177.05㎡
建築年	昭和54年
構成施設	事務室・会議室・電気室・機械室・中継ポンプ場
管理形態	直営
施設所管課	建設部下水道課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



※延床面積には、中継ポンプ場が含まれています。

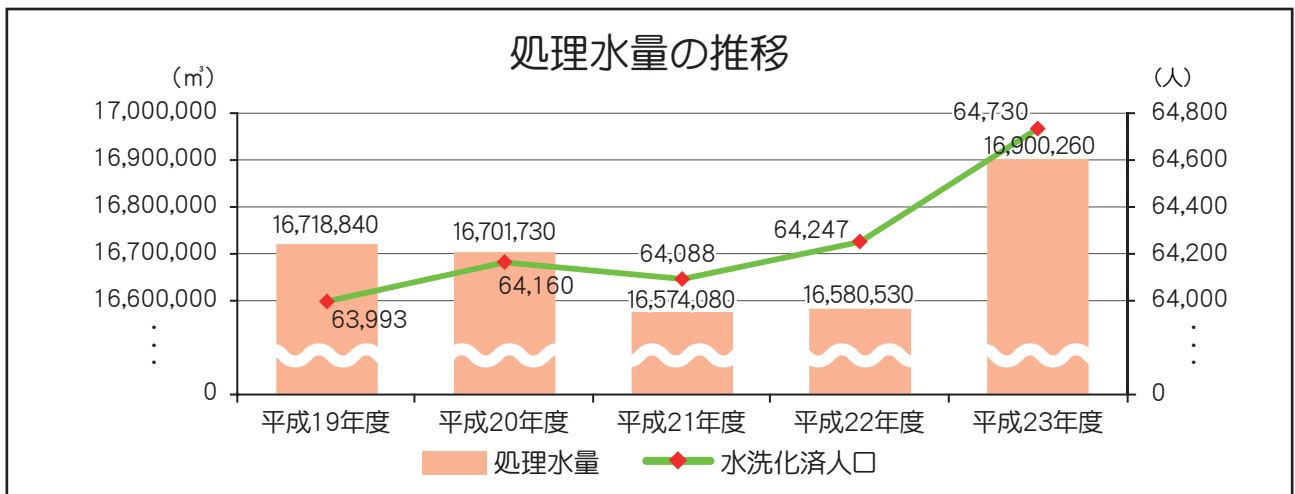
中央浄化センターは、快適で安全な生活環境の向上を図り、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上と生活環境整備事業の一環として、約4年半の歳月をかけ77,787㎡の海岸を埋め立て、公共下水道の終末処理場として、昭和54年に建設されました。

建築後30年を経過し老朽化していることにより、下水道長寿命化計画に基づき、改築更新計画を策定し、平成22年度から計画を実施しています。また、市内5箇所にある中継ポンプ場についてもすべて建築後30年を経過しており、何らかの対策が必要となっています。

稼働状況としては、事業の全体計画では、人口で107,200人、生活排水量で1日に100,000㎡を処理することを目標に、当初は、23,500㎡の処理能力で稼働し、昭和57年には47,000㎡に、そして現在は60,000㎡の処理能力を有するまでになりました。

また、施設は小学校などの社会見学を含め、年間約15団体600名の見学者を受け入れています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	26,988千円 正職員(4.6人)
光熱水費	78,033千円
修繕料	560千円
役務費	2,609千円
委託料	238,744千円
指定管理料	—
工事請負費	167,396千円
その他の支出	26,005千円
合 計	540,335千円
減価償却費	126,291千円(参考値)



#### 【中継ポンプ場一覧】

施設名	建築年	構造	延床面積
亀川汚水中継ポンプ場	昭和56年	鉄筋コンクリート造	1,144.82㎡
北浜汚水中継ポンプ場	昭和52年	鉄筋コンクリート造	946.22㎡
汐見汚水中継ポンプ場	昭和56年	鉄筋コンクリート造	428.97㎡
春木汚水中継ポンプ場	昭和53年	鉄筋コンクリート造	1,142.48㎡
山田汚水中継ポンプ場	昭和56年	鉄筋コンクリート造	435.49㎡

## 8. くらし・その他

### 耐震診断の実施状況

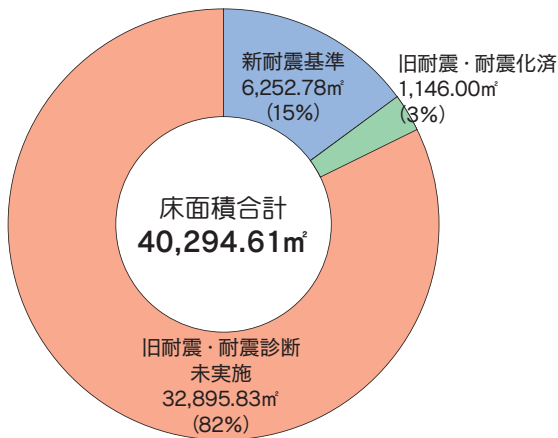
#### 8. くらし・その他

施設名称	建築年	新耐震基準		旧耐震基準					
				耐震化済		診断済・耐震化必要		耐震診断未実施	
		棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積
① リサイクル情報センター	S54							1	635.04
② 別府市学校給食共同調理場 (注1)	S47	2	728.00					8	2,610.00
③ 南立石緑化植物園みどりの相談所	S53							1	857.51
④ 別府駅高架下自転車専用駐車場	H20	1	630.44						
⑤ 別府駅西口自転車駐車場	H20	1	242.69						
⑥ 新若草港漁具倉庫	H19	1	240.00						
⑦ 楠港漁具倉庫	H20	1	415.14						
⑧ 清掃事務所	H 5	2	2,612.74						
⑨ し尿処理場「春木苑」	S44			1	1,146.00				
⑩ 中央浄化センター (注2)	S54	1	1,383.77					10	28,793.28
		9	6,252.78	1	1,146.00	0	0.00	20	32,895.83

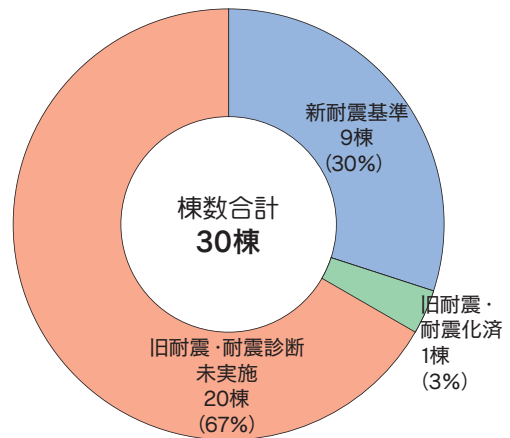
(注1) 各学校にある単独調理場 (2,075㎡) を含みません。(棟数は別棟分9棟を計上しています。)

(注2) 汚水中継ポンプ場 (5棟4,097.98㎡) を含みません。

床面積に対する割合



棟数に対する割合



施設配置図 8. <らし・その他

